

葛飾フットサルリーグ速報

8節

K1リーグ			K2リーグ			K3リーグ		
イサカ	8対3	SHIMI'S	ういるす	5対2	FREEDOM	ボンビーズB	5対5	FREEDOM
タコボーズ	6対6	SHIMI'S	いいいちこ	5対3	FREEDOM	T-BRONZE	5対4	ばるたん
コガサキ	12対4	大江戸FC	ASC	2対2	ホソヤ	サウスクラブ	0対1	スティッチ
Doorz	5対2	黄金世代	キングジョー	1対6	FREEDOM			

順位

K1リーグ				K2リーグ				K3リーグ			
	勝点	動向	つぶやき		勝点	動向	つぶやき		勝点	動向	つぶやき
1、コガサキ	21	↑	2キャノン炸裂	1、いいいちこ	21	↑	快勝	1、バルタン	19	↓	外した
1、イサカ	21	↑	シンプル	2、酒乱	15		今週休み	1、ボンビーズB	19	↑	足が止まる
3、MXPX	15		今週やすみ	3、ASC	14	→	追いつかれた	3、ナカノイソ	13		今週休み
4、Doorz	13	↑	小林乗ってきた	4、野人	10		今週休み	4、T-BRONZE	12	↑	猛追
5、タコボーズ	10	→	追いついた	4、ういるす	10	↑	岸先制だ。	5、スティッチ	9	↑	先制パンチ
6、大江戸FC	9	↓	空中戦なし	6、ホソヤ	8	→	追いついた	5、ジニアス	6		今週休み
7、黄金世代	7	↓	苦しい展開	7、Y'z	4		今週休み	7、サウスクラブ	0	↓	守備
8、SHIMI'S	4	→	元気がない	7、キングジョー	4	↓	もう少し	8、募集中			

K1リーグ

チームイサカ 対 SHIMI'Sの対戦は、前半イサカのテンポ良いパス回しでSHIMI'Sディフェンスを崩していった。先週に引き続き鈴木、有山ホットラインでゴールを奪っていった。後半に入り動きの堅かったSHIMI'Sも反撃開始スピードのある攻撃で追い上げをみせたが追いつけなかった。

タコボーズ 対 SHIMI'Sの対戦は、前半SHIMI'S田中、平の早い攻撃でタコゴールを奪って行った。関も技ありゴールを決め早くもワンサイドゲームに成りつつあった。後半に入ってタコ鹿野谷、澤村投入が功を奏し開始直ぐに同点に追いついた。終盤SHIMI'S清水などで突き放したが、タコも粘り同点ゴールでタイムアップとなった。

コガサキ 対 大江戸FCの対戦は、前半コガサキ得意の個人技で押し捲った。大江戸も守りを固めるも馬場、原田の2枚を押さえるのは厳しかった。後半も波に乗ってしまった感のある2人を止めるのが厳しかった。逆に戦術変更したのが大江戸得意の空中戦と速攻が、見れなかったのが残念だ。

Doorz Race 対 黄金世代の対戦は、前半先週から好調のDoorz小林の切れのあるシュートで黄金から先制した。黄金も負けじと岩見のコースを突いたロングシュートで互角の展開となった。後半Doorz唐澤のライン際からのミドルシュートが決まり、徐々にDoorzペースとなっていった。黄金も今関のドリブル突破もみられたが追いつくまでには到らなく、Doorzの勝利となった。

K2リーグ

ういるす 対 FREEDOMの対戦は、前半ういるす岸の先制ゴールで勢いに乗り立て続けにゴールを挙げた。

守ってもキーパー坂口が、ファインセーブでゴールを死守した。後半FREEDOMの時間帯が続いたが、ういるす小林がダメ押し弾を叩き込み勝利となった。

いいいちこ 対 FREEDOMの対戦は、いいいちこ新井のコースを狙いすました先制ゴールで波に乗った。中押しで中島のミドルシュートをゴール隅に決めFREEDOMを突き放した。後半FREEDOMにボールを回される場面もみられたが、ディフェンスも激しくチェックに行きついている隙をみせず勝利した。

ASC 対 ホソヤの対戦は、前半ホソヤ熊谷を軸に攻撃をが、中々得点に繋がれなかった。一方、ASCも速攻でホソヤを攻め立てるも得点に繋がれなかった。後半ASC大庫の狙いすましたロングシュートでリードを広げたが、ホソヤの怒涛の追い上げに合い痛みわけとなった。

キングジョー 対 FREEDOMの対戦は、キングジョーの守備の戻りが早くなり人数が足りている時は、守れているが速攻を仕掛けたときに逆襲で点を取られているので次は、残ったディフェンスが相手の攻撃を守備に戻るまでに遅らせる事が課題である。攻撃は、カウンターが多いので幅広い攻撃に期待する。

K3リーグ

ボンビーズB 対 FREEDOMの対戦は、ボンビーズ市川が、ドリブルで切れ込み2点先制した、守ってもボンビーズ守護神萩野が再三に渡りファインセーブを魅せボンビーズ優勢かと思われたが、リードしているときのボンビーズは守りムラが出てきてしまう癖があり、今回も油断から追いつかれてしまった。痛い引き分けである。

T-BRONZE 対 ばるたんCLUBの対戦は、前半からT-BROの厳しいディフェンスがばるたんの出足を止め大弥の先制でゲームが動いた。ばるたんも中島のゴールで互角の展開にもつれた。後半に入ってももつれていたが、ばるたんがゴール前でシュートミスを連発すると流れが一気にT-BROに流れ富田が、押し込み勝利となった。

スティッチ 対 サウスクラブの対戦は、前半スティッチ大石の個人技で先制し波に乗るかと思われたが、サウス宮河、福本の必死のディフェンスの甲斐あって最小点で切り抜けた。後半両チームカウンターで狙いに行くが得点を挙げる事ができずスティッチの勝利となった。



MVP ういるす 岸 雄一選手
1つずつ勝っていきます。



MVP いいいちこ 中島 翼選手
ヨロシク!!



MVP T-BRONZE 大弥 洋輔選手
有難うございます。

MVP



MVP Doorz race 唐澤 広彰選手
全体的にミスの多い試合でつまらないミスで失点してしまった。結果としては、勝てて良かったが、課題の残る試合でした。

